



藤田観光株式会社

2026年12月期 第1四半期

決算説明資料

2026年5月14日
(証券コード:9722)



前年比 売上高 **6.5**億円増収、営業利益 **3.6**億円減益

- ・大規模な改装に伴う客室の売り止め影響があったものの、高付加価値商品の提供や欧米豪を中心としたインバウンドの獲得および需給動向に合わせた価格設定により、前年比増収
- ・賃上げなどによる労務費の増加や客室改装による費用が増加し、前年比減益
- ・特別利益(投資有価証券売却益)の計上により、四半期純利益は前年比増益

単位:百万円	2026年 1Q実績	2025年 1Q実績	前年比
売上高	19,424	18,765	+659
営業利益	2,586	2,954	▲367
経常利益	2,116	2,500	▲383
特別利益	5,999	—	+5,999
特別損失	—	—	—
税金等費用	2,769	874	+1,895
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,346	1,626	+3,720

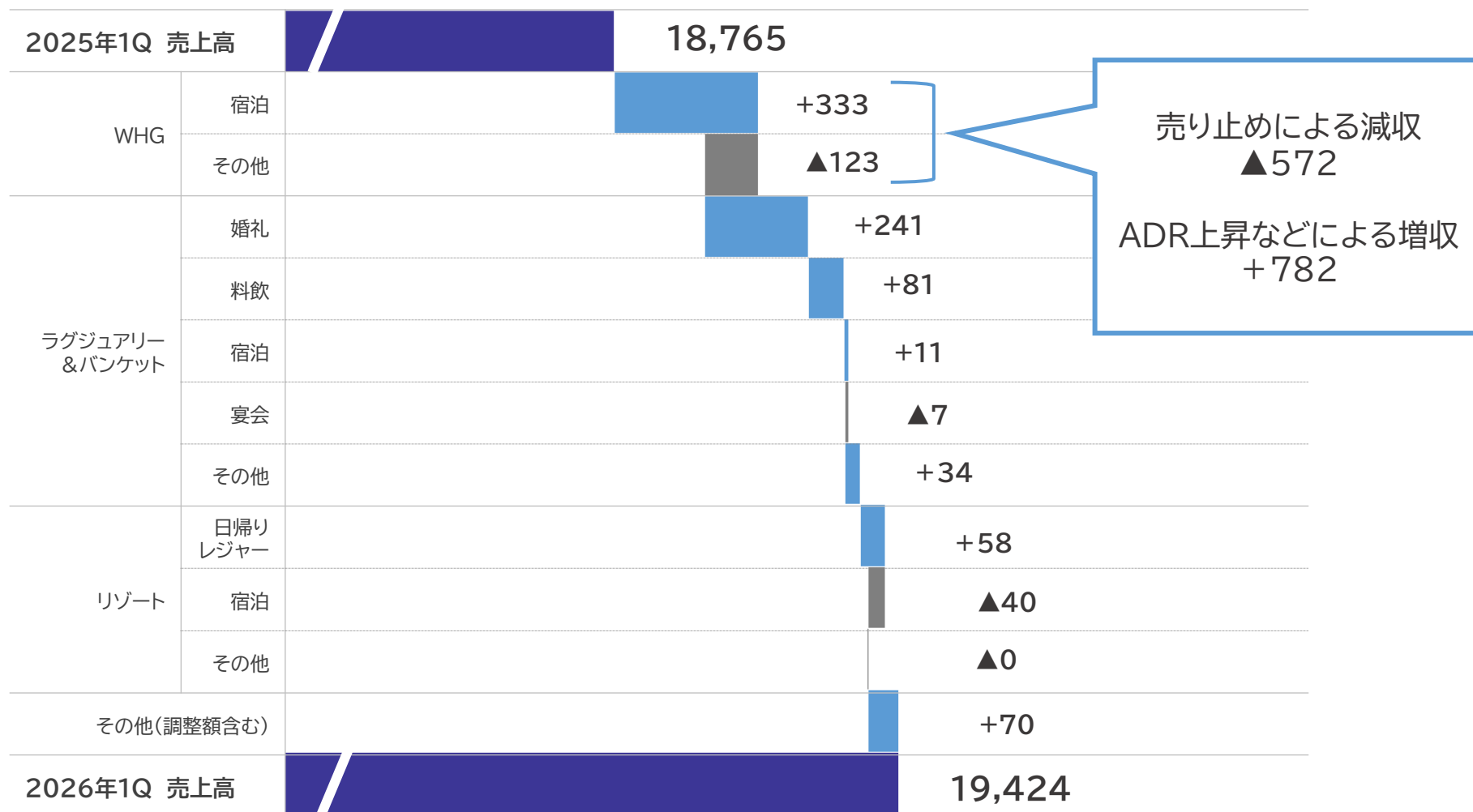
全事業において前年比増収も、売り止めや費用増加により減益

- ・WHG事業は商品力強化および海外セールス強化によりADR(客室平均単価)上昇
- ・ラグジュアリー&バンケット事業は宴会場改装および商品力強化により婚礼部門が好調に推移
- ・リゾート事業は「箱根小涌園ユネッサン」の入場人員増などによる増収も、労務費の増加により減益

単位:百万円		2026年 1Q実績	2025年 1Q実績	前年比
売上高		19,424	18,765	+659
	WHG事業	11,880	11,670	+209
	ラグジュアリー&バンケット事業	4,631	4,270	+361
	リゾート事業	2,548	2,530	+17
	その他(調整額含む)	364	293	71
営業損益		2,586	2,954	▲367
	WHG事業	2,477	2,782	▲304
	ラグジュアリー&バンケット事業	112	98	+14
	リゾート事業	▲2	81	▲84
	その他(調整額含む)	▲1	▲8	+6

宿泊部門(WHG事業)のADR上昇、婚礼部門の利用人員増が増収を牽引 前年比 6.5億円増収

単位:百万円



営業利益 —要因別増減—

費用増加が限界利益の増加を上回り、前年比減益
前年比 3.6億円減益

- ・新規採用、賃上げなどによる労務費および付加価値向上施策の一環である改装に伴う投資一時費用・減価償却費の増加などにより減益

単位:百万円

2025年1Q営業利益		2,954
増収による 限界利益増加	WHG	+157
	ラグジュアリー & バンケット	+257
	リゾート	+15
費用増加	労務費	▲439
	投資一時費用	▲130
	減価償却費	▲120
	広告宣伝費	▲75
	その他費用	▲31
2026年1Q営業利益		2,586

売り止めによる減益
▲420

ADR上昇などによる増益
+577

営業固定費比率(対売上高)

2025年	61.4%
▼	
2026年	63.3%

商品力強化によりADR前年比9%上昇・増収も、改装に伴う客室売り止め・費用増により減益
 ⇒事業全体で前年比 **2.0**億円増収、**3.0**億円減益

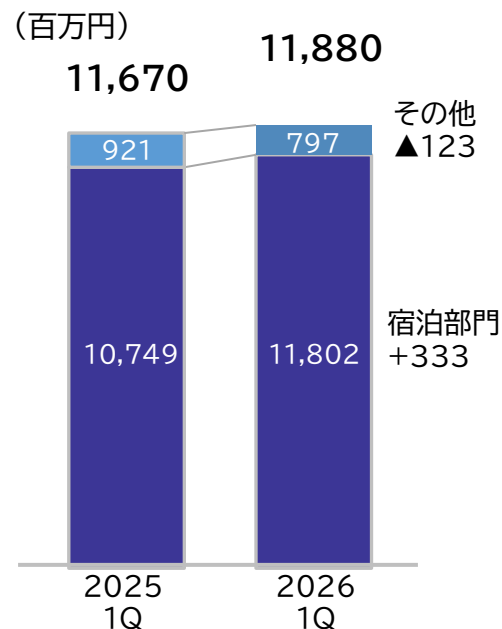
・改装による機能強化や海外セールス強化により、欧米豪を中心としたインバウンドを獲得。加えてイールド機能の強化により需給動向に合わせた価格設定を実施し、ADR上昇

<改装に伴う売り止めの状況>

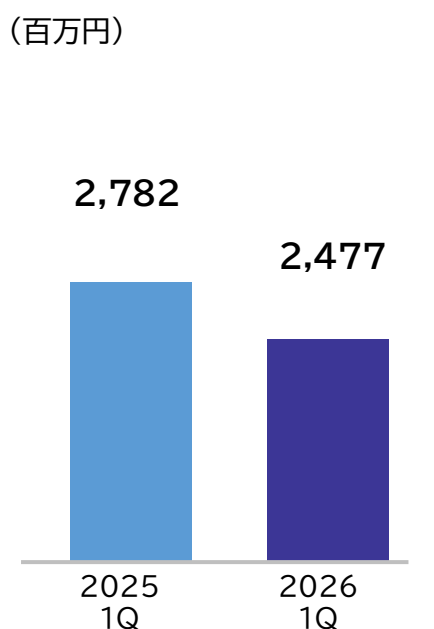
2026年1～3月 HG札幌、東京ベイ有明WHなど、延べ売り止め客室数 約40,000室

※ WH:ワシントンホテル HG:ホテルグレイスリー

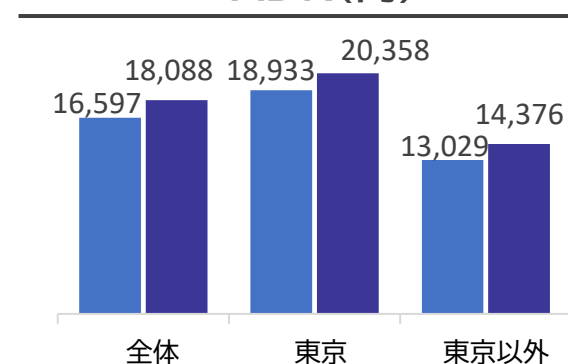
売上高



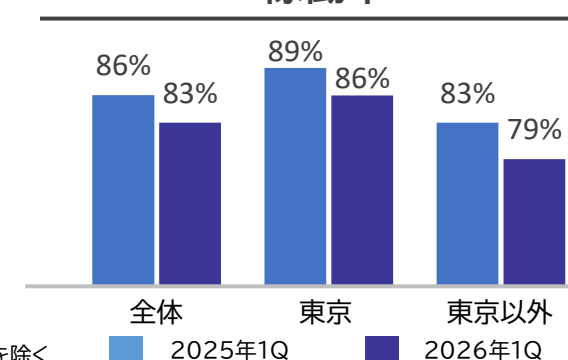
営業利益



ADR(円)



稼働率

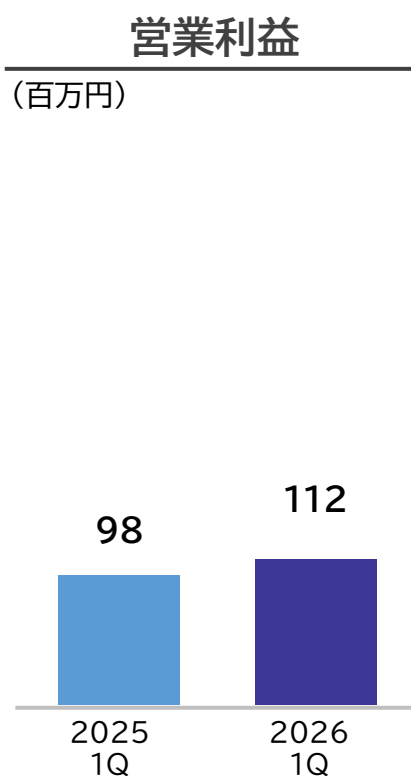
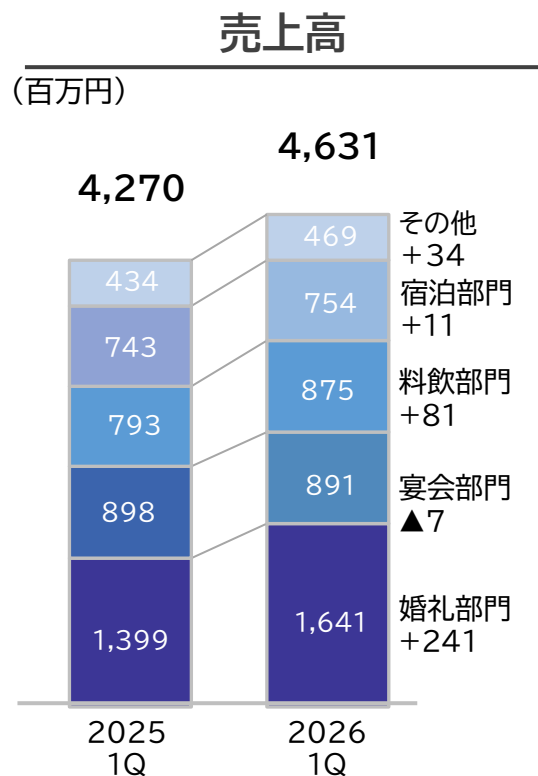


※ 営業指標はWHGホテルズFC・MC施設およびサービスアパートメントISORAS CIKARANGを除く

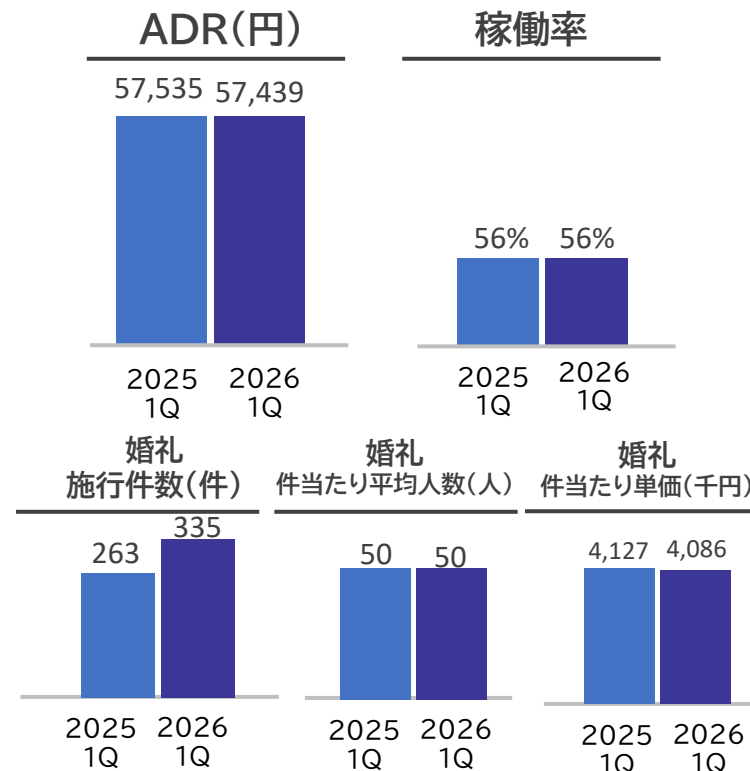
婚礼部門が好調に推移し増収、増益
 ⇒事業全体で前年比 **3.6億円増収、0.1億円増益**

「ホテル椿山荘東京」

- ・婚礼部門:ハード・ソフト両面の商品力強化により、施行件数が大幅に増加
- ・料飲部門:慶事・会食需要の高まりに加え、アフタヌーンティー企画が増収に寄与
- ・宿泊部門:昨年来実施の海外プロモーション強化により、欧米豪を中心としたインバウンドを獲得



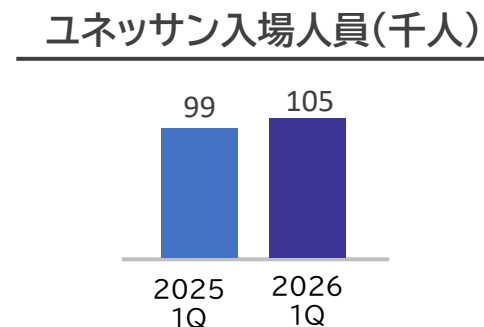
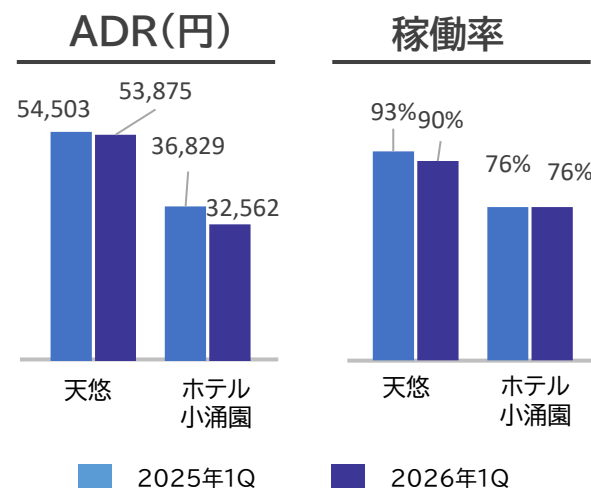
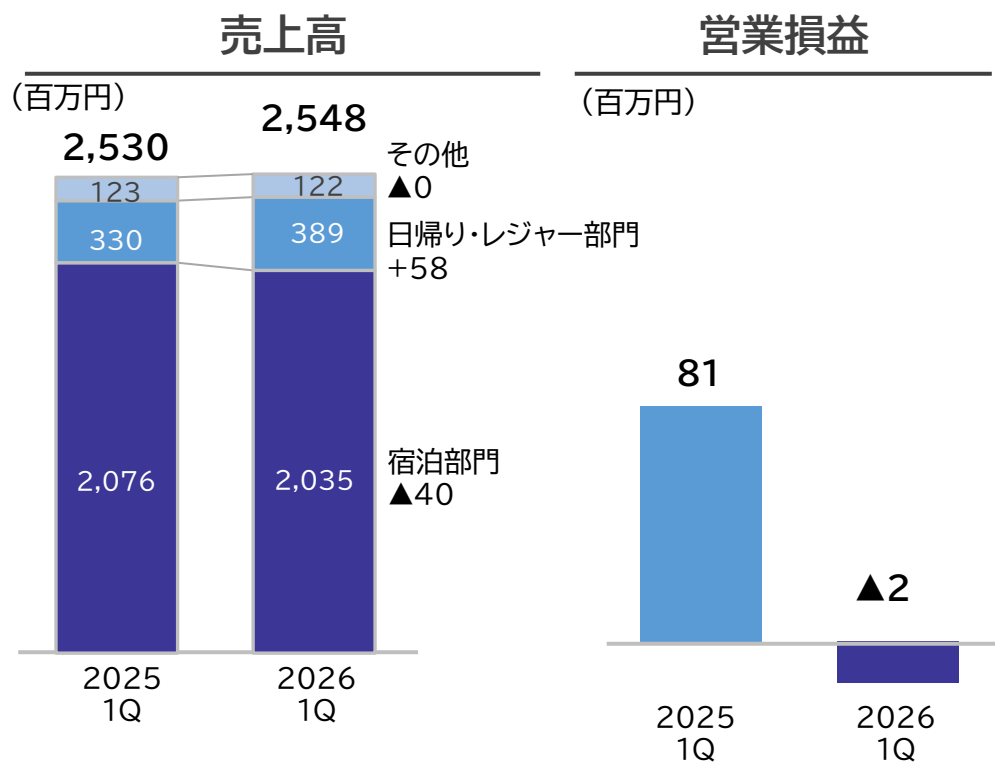
ホテル椿山荘東京



※婚礼施行件数、件当たり人数・単価は挙式のみでの施行件数を含まず算出

売上高は前年並み、労務費などの費用増加により減益
 ⇒事業全体で前年比 **0.1億円増収**、**0.8億円減益**

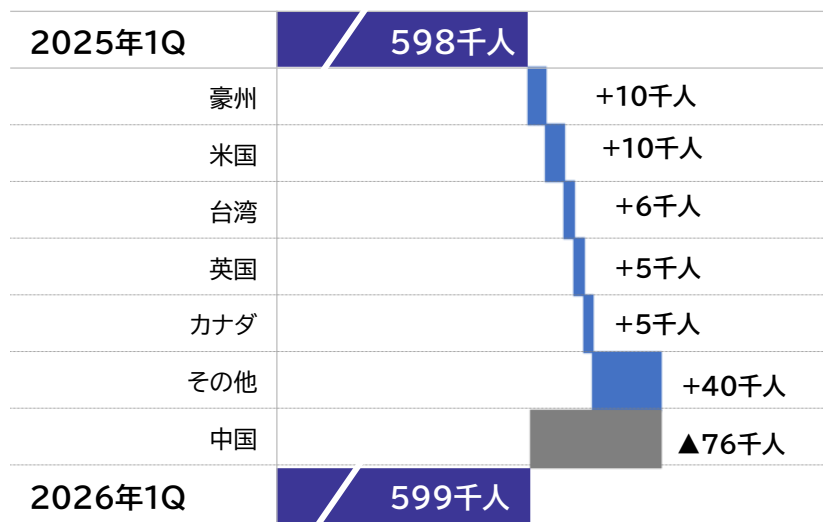
- ・「箱根小涌園 天悠」インバウンド需要が減少したものの、国内需要を取り込み、高単価・高稼働を維持
- ・「箱根ホテル小涌園」卒業旅行など国内需要の取り込みを強化し、稼働を維持
- ・「箱根小涌園ユネッサン」箱根観光地化戦略の一環のイベント開催による箱根小涌園エリア活性化および企業コラボなどにより利用人員増



インバウンドの状況

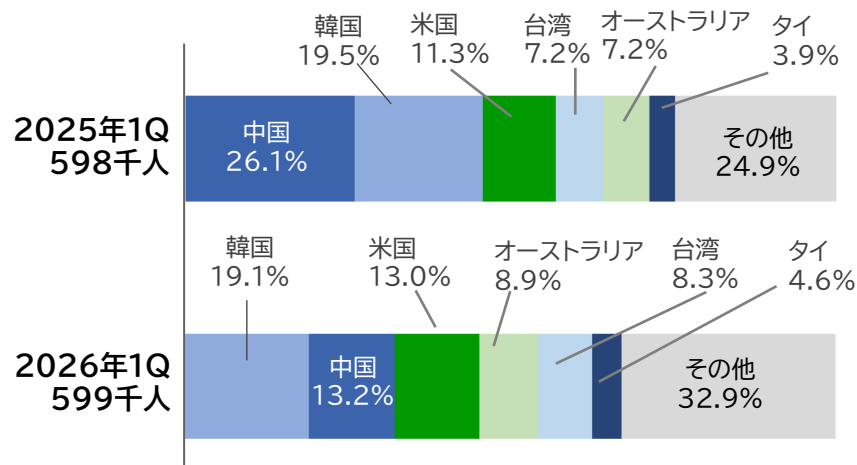
	2026年1Q 実績	前年比
インバウンド宿泊者数(国内事業所のみ)	599千人	+0.3%
総宿泊者数(国内事業所のみ)	1,019千人	▲4.3%
インバウンド比率	58.8%	+2.7%pt
WHG全体	61.8%	+3.6%pt
ホテルグレイスリー新宿	95.8%	+0.4%pt
新宿ワシントンホテル(本館・ANNEX)	76.5%	+4.7%pt
ホテル椿山荘東京	33.8%	+4.3%pt
箱根小涌園 天悠	43.5%	▲11.1%pt
箱根ホテル小涌園	15.3%	▲6.6%pt

インバウンド宿泊者数 国別増減



※中国の数値に香港からの宿泊者数を含む

インバウンド宿泊者数 国別シェア



※2025年は598千人を、2026年は599千人を100%とした場合

連結 貸借対照表

- ・投資有価証券の売却などにより、固定資産は前期末比 **54.6**億円減少
- ・純資産は前期末比 **27.4**億円増加の **395.6**億円
- ・借入金は前期末比 **19.3**億円減少の **257.2**億円

単位:百万円		2026年 3月末	2025年 12月末	増減
	流動資産	25,131	20,676	+4,455
	固定資産	72,697	78,157	▲5,460
	資産合計	97,829	98,834	▲1,004
	流動負債	28,411	29,366	▲955
	固定負債	29,850	32,648	▲2,798
	負債合計	58,261	62,015	▲3,754
	純資産合計	39,567	36,818	+2,749
	負債純資産合計	97,829	98,834	▲1,004
	自己資本比率	40.4%	37.3%	+3.2%pt
	借入金合計	25,724	27,655	▲1,931

トピックス

➤ ワシントンホテル株式会社との業務提携開始

2026年2月12日にワシントンホテル株式会社との業務提携契約を締結、4月1日より会員プログラムの相互利用を開始しました。これにより新たに43施設が「THE FUJITA MEMBERS」の対象施設に加わり、あわせて約90施設となりました。

ビジネスや観光など多様なニーズにお応えし、より利便性高く施設をご利用いただけます。

さらなる「ワシントンホテル」ブランドの価値向上および両社の持続的成長に向け、取り組んでまいります。

➤ 改装の進捗ー①ホテルグレイスリー札幌<6月完工予定>

「ホテルグレイスリー札幌」は北海道の雄大な自然を“見て・聴いて・香って楽しめる”をコンセプトに客室を改装し、一部シングルルーム2室を繋げツインルーム1室に仕様変更するなど、快適性と機能性を向上させました。また、エグゼクティブフロア宿泊者および「THE FUJITA MEMBERS」会員限定のゲストラウンジを新設、北海道産のドリンクを提供するなど、滞在価値の向上を図ってまいります。



W ワシントンホテルプラザ



ワシントン
R&B ホテル



デラックスツインルーム

➤ 改装の進捗ー②新宿ワシントンホテル<4月完工>

「新宿ワシントンホテル」は、日本の伝統的な美意識や所作を体験できる“入口体験”をコンセプトに宿泊者専用ラウンジ「LOUNGE 茶寮-SARYO-」を新設しました。杉材で仕立てた茶室を中心に全46席を配し、スタッフによる抹茶点てサービスやセルフサービスの飲食を提供するなど、「THE FUJITA MEMBERS」会員をはじめとするお客さまへの滞在価値の向上を図ってまいります。



「LOUNGE 茶寮-SARYO-」(イメージ)

➤ 改装の進捗ー③キャナルシティ・福岡ワシントンホテル<9月リニューアルオープン、11月完工予定>

「キャナルシティ・福岡ワシントンホテル」は、2026年4月から8月の5か月間、全館を一時休業し、「キャナルシティ博多」のコンセプトである“都市の劇場”をテーマに客室・ロビーを全面改装し、快適性と滞在価値の向上を図ります。また、セルフチェックイン・チェックアウト機や宿泊者専用セルフクローク、カードキー制御エレベーターを導入し、機能性と安全性の向上を進めてまいります。



博多祇園山笠の躍動感を表現したロビー
(イメージ)

営業指標推移

		2025年				2026年
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
WHG全体	稼働率	86%	87%	85%	83%	83%
	ADR	16,597円	17,821円	16,127円	20,095円	18,088円
WHG東京	稼働率	89%	89%	84%	84%	86%
	ADR	18,933円	20,237円	17,387円	22,794円	20,358円
WHG東京以外	稼働率	83%	85%	85%	82%	79%
	ADR	13,029円	14,179円	14,311円	15,952円	14,376円
ホテル椿山荘東京	稼働率	56%	75%	63%	80%	56%
	ADR	57,535円	55,483円	51,567円	55,853円	57,439円
箱根小涌園 天悠	稼働率	93%	87%	89%	95%	90%
	ADR	54,503円	57,992円	55,262円	60,255円	53,875円
箱根ホテル小涌園	稼働率	76%	79%	93%	83%	76%
	ADR	36,829円	34,568円	40,179円	37,267円	32,562円
ホテル椿山荘東京	婚礼施行件数	263件	444件	274件	600件	335件
	婚礼件当たり単価	4,127千円	3,980千円	3,808千円	4,182千円	4,086千円
	婚礼件当たり平均員数	50人	47人	45人	50人	50人
箱根小涌園ユネッサン	入場人員	99千人	104千人	194千人	105千人	105千人

施設一覧(2026年5月14日現在)

WHG事業		リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
《宿泊》 34拠点 10,841室		《宿泊》11拠点 554室		《宿泊》 1拠点 265室	
■ワシントンホテル (19拠点 6,476室)	■ホテルグレイスリー (10拠点 3,165室)	箱根小涌園 天悠	150室	ホテル椿山荘東京	265室
仙台	223室	箱根ホテル小涌園	150室	《婚礼》 2拠点	
新宿(本館、ANNEX)	1,618室	箱根小涌園 三河屋旅館	25室	ルメルシェ元宇品(広島県)	
秋葉原	366室	箱根小涌園 美山楓林	15室	ザ サウスハーバーリゾート(広島県)	
東京ベイ有明	830室	伊東小涌園	50室	《レジャー》 1拠点	
横浜桜木町	553室	伊東 緑涌	7室	カメラアヒルズカントリークラブ(千葉県)	
広島	266室	藤乃煌 富士御殿場	25室	《レストラン》 2拠点	
キャナルシティ・福岡	422室	永平寺 親禅の宿 柏樹閣	18室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	湯河原温泉ちとせ【MC】	38室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	ホテルやまなみ【MC】(山梨県)	26室		
会津若松【FC】	154室	十和田ホテル【業務提携】	50室		
郡山【FC】	184室	《レストラン》 3拠点			
いわき【FC】	148室	レストランあかしあ亭(秋田県)			
立川【FC】	170室	箱根小涌園 蕎麦 貴賓館			
木更津【FC】	146室	箱根小涌園 鉄板焼・しゃぶしゃぶ 迎賓館			
燕三条【FC】	103室	《レジャー》 5拠点			
関西エアポート【FC】	504室	箱根小涌園ユネッサン			
関空泉大津【FC】	151室	箱根小涌園 元湯 森の湯			
宝塚【FC】	135室	箱根小涌園キャンプ&スパ 山の音			
佐世保【FC】	190室	Fuji Camp Base煌(藤乃煌 富士御殿場 敷地内)			
		下田海中水族館			
	■サービス・アパートメント(1拠点190室)				
	ISORAS CIKARANG イソラス チカラン(インドネシア)	190室			

FC:フランチャイズ方式
所有と経営・運営ともにオーナー企業に帰属し、当社はブランド使用权の貸与と運営を指導

MC:マネジメントコントラクト方式
所有と経営はオーナー企業に帰属し、当社は運営を受託

ホテル椿山荘東京

【概要】

所在地：東京都文京区

敷地面積：49千㎡（路線価1,020千円/㎡ 2025年7月1日国税庁発表）

用途地域：都市計画法による第二種住居地域

文京区風致地区条例による第二種風致地区（高さ制限15m）（1971年指定）

指定建蔽率：60%

指定容積率：300%

箱根小涌園（箱根小涌園 天悠・箱根ホテル小涌園・箱根小涌園ユネッサン 他）

【概要】

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町

敷地面積：795千㎡（路線価52千円/㎡ 2025年7月1日国税庁発表）

用途地域：自然公園法による第二種特別地域C区域 ※うち一部は宿舎事業地指定

都市計画法による第一種住居地域、第3種観光地区

指定建蔽率：自然公園法第二種特別地域C区域…30%

指定容積率：自然公園法第二種特別地域C区域…90%

上場取引所	東京証券取引所プライム市場
社名	藤田観光株式会社
証券コード	9722
単元株式数	普通株式 100株
事業年度	毎年1月1日～12月31日
基準日	12月31日
配当金支払株主確定日(普通株式)	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	毎年3月
発行済株式の総数	普通株式 61,037,120株
発行可能株式総数	普通株式 220,000,000株
決算期	毎年12月31日

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経営企画部

TEL : 03-5981-7722

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
また、注記を行っている場合を除き、2026年3月31日現在のデータに基づいて作成しております。
尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。
当資料の転載はご遠慮ください。